

「名寄市水道事業中期経営計画（平成19年～23年）」および 「名寄市下水道事業中期経営計画（平成19年～23年）」の 最終報告書をお知らせします

名寄市水道事業および下水道事業では、安心、安全な水道水の供給と、清潔で快適な生活環境を実現するためのライフラインの整備を進めています。

一層の経営健全化と事業の活性化を目標に、平成19年から平成23年を計画期間として策定した中期経営計画について、最終報告書を作成しましたのでその概要をお知らせします。

【計画策定の期間】 平成19年度～平成23年度

<水道事業>

【中期財政収支計画】

計画では、期間中合計で1,360万円の経常利益を目標としましたが、期間中4,083万円の利益が確保できました。

また、補償金免除繰上償還により支払利息を抑えることができました。

【定員管理および給与の適正化】

定員管理については、目標の14人体制を平成20年10月に達成し、給与の適正化も「名寄市行財政改革推進計画」に基づき実施しました。

【主要施策・設備投資計画】

水源開発事業・第2期拡張事業は、サンルダムの本体着工凍結に伴う対象事業費の減少や、風連への送水管布設工事の延期によって平成22年度、平成23年度で減少しました。

また、配水管更新工事では、国庫補助金と合併特例債を活用しての事業の展開に重点をおいたため、計画より事業費が大幅に増大しました。

【経営基盤強化の取り組み】

- ・職員数の削減および人件費の抑制
- ・機構改革による組織の縮小
- ・補償金免除繰上償還による企業債の借換の実施
- ・水道料金のコンビニ収納の導入
- ・水道水PR用ボトルドウォーターの製造、販売

【経費節減などの取り組みによる効果額】

料金の見直しや人件費削減、職員給与の見直し、起債繰上償還について取り組みを行った結果、5カ年の平均で目標5,615万円に対し6,387万円の実績となりました。

<下水道事業>

【中期財政収支計画】

下水道事業では平成23年度に5%の料金改定を予定していましたが、平成22年度までの経営状況や景気の動向を勘案し、料金改定を見送りましたが5年間の平均では4億2,300万円の料金収入を確保できました。

【定員管理および給与の適正化】

定員管理については、目標の11人体制を平成22年4月に達成し、給与の適正化も「名寄市行財政改革推進計画」に基づき実施しました。

【主要施策・設備投資計画】

主要施策は、計画から大きな変更はありませんでした。設備投資計画も補助事業を中心におおむね計画どおり実施しました。

【経営基盤強化の取り組み】

- ・職員数の削減および人件費の抑制
- ・機構改革による組織の縮小
- ・補償金免除繰上償還による企業債の借換の実施

【経費節減などの取り組みによる効果額】

人件費削減、職員給与の見直し、起債繰上償還について取り組みを行った結果、5カ年の平均で目標4,905万円に対し4,779万円の実績となりました。

詳細および収支計画などの数値については、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

